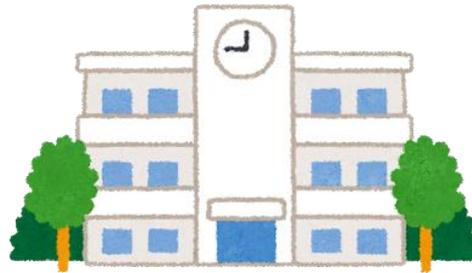


# 庄内地域における 「魅力ある学校」づくり 構想について



平成28年（2016年）2月  
豊中市教育委員会事務局

# ご説明させていただく内容



1. 「魅力ある学校」づくりの検討について
2. 「魅力ある学校」づくり構想について
3. 今後のスケジュール（想定）





# 1. 「魅力ある学校」づくりの検討について

学校規模と通学区域に関する課題の解消に向けた基本方針  
～より充実した教育環境をめざして～

平成26年（2014年）4月策定



## 【目的】

- 諸課題を解消し、教育環境の整備・充実を図る

## 【検討の視点】

- 子どもたちを取り巻く学校園、家庭、地域、事業者等の連携
- 地域づくり、まちづくりの視点

# 1. 「魅力ある学校」づくりの検討について

## 学校規模と通学区域に関する課題の解消に向けた 基本方針（概要）



### 【地域ごとの検討（南部地区）】

南部地区においては、児童・生徒数の減少に加えて、学習課題や生活課題を抱えている児童・生徒が多くいることから、子どもたちが夢や希望をもてるように、地域とともにさまざまな関係機関等と連携して教育活動を展開する「魅力ある学校」づくりが喫緊の課題となっています。

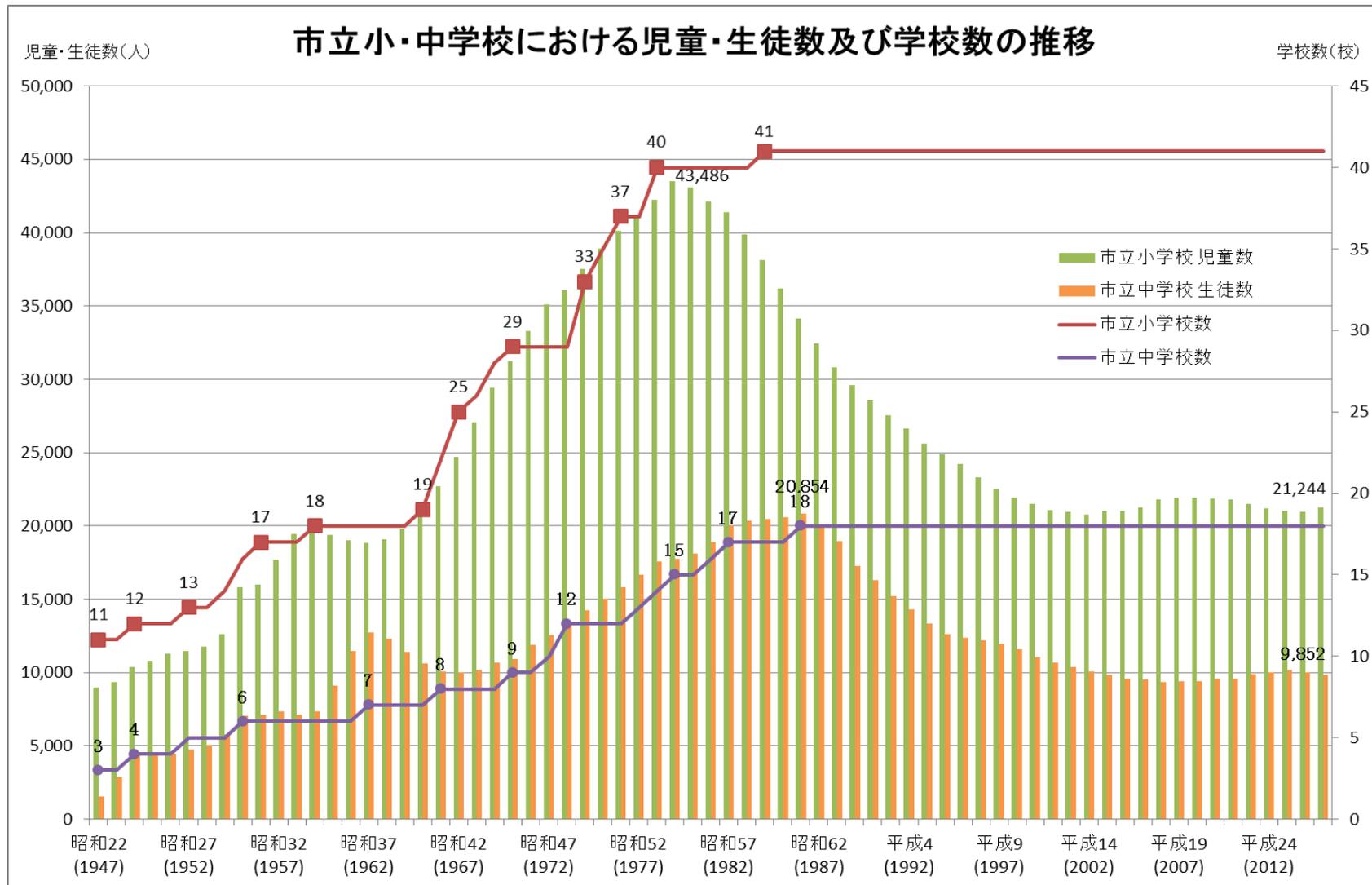
こうした喫緊の課題を早急に解消する必要があるため、平成26年度(2014年度)から、以下の点を踏まえた具体的な対応方策の検討に着手します。

（中略）

さらに、児童・生徒数の推移を見極め、学校規模や地理的条件その他の事情も考慮したうえで、南部地区の実情に応じた小・中学校の配置のあり方についても検討する必要があります。



# 豊中市の小・中学校の現状



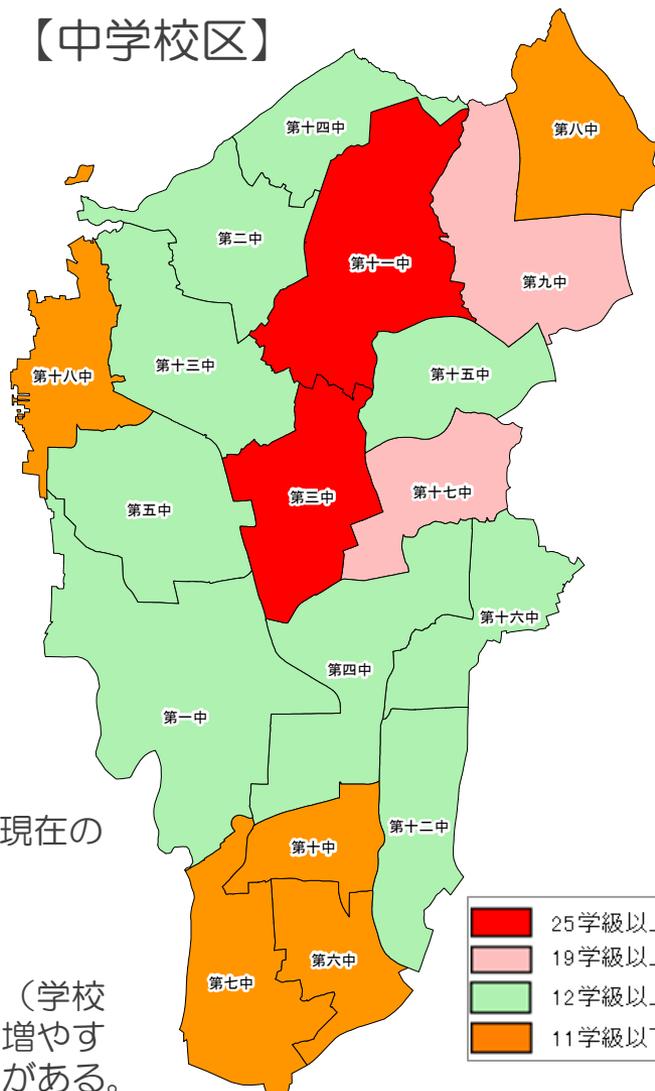


# 豊中市の小・中学校の現状

【小学校区】



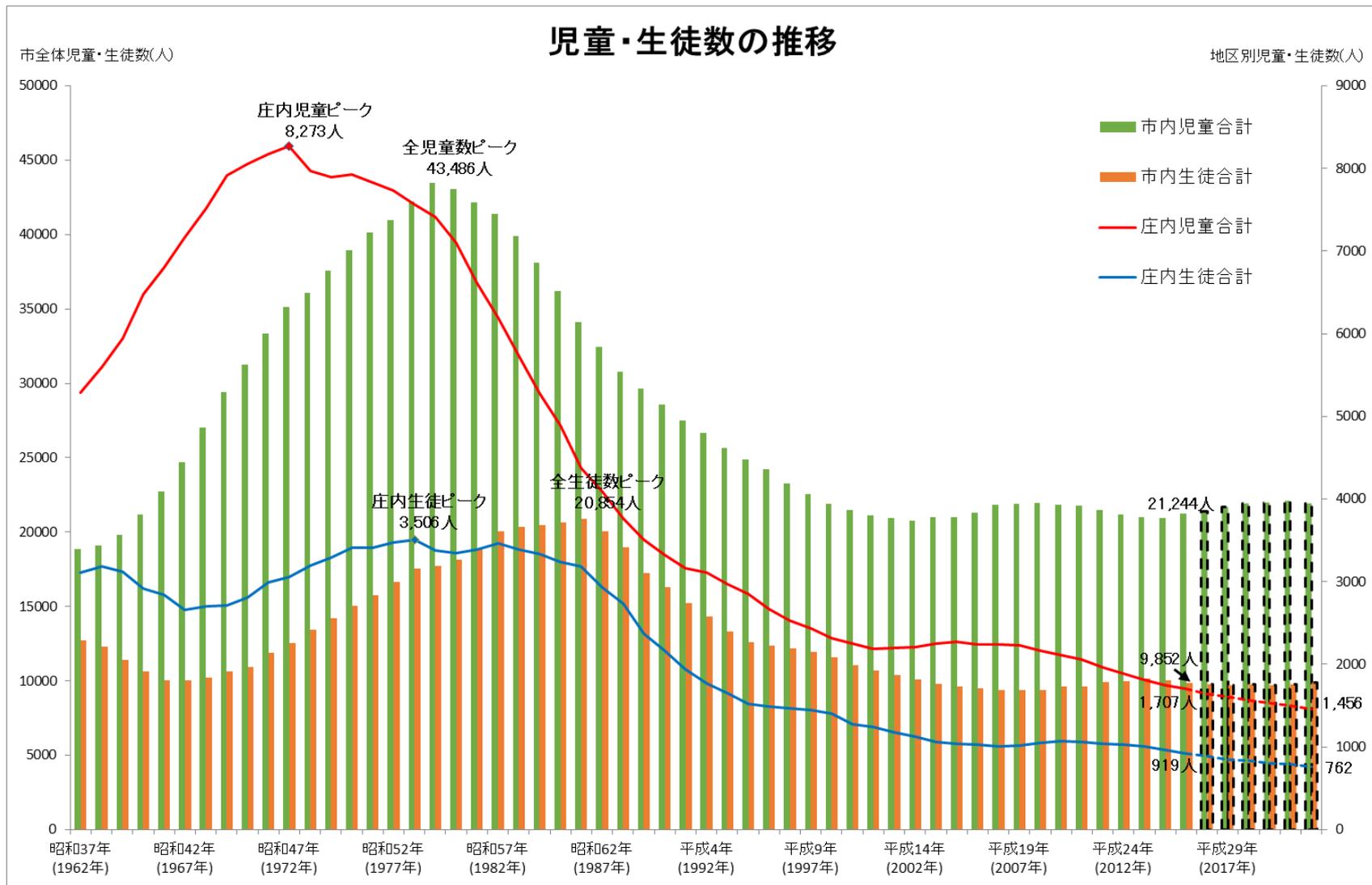
【中学校区】



平成27年（2015年）5月1日現在の通常学級数の状況を表す。  
 小学校1,2年生は35人学級、  
 小学校3年生以上は40人学級。  
 ただし、学級編制の弾力的運用（学校ごとの事情に応じて、クラスを増やす施策）を行っている小・中学校がある。



# 豊中市及び庄内地域の児童生徒数の推移



※平成27年度（2015年度）までは実数、平成28年度（2016年度）以降は推計値。



# 豊中市及び庄内地域の児童生徒数の推移

市全体児童・生徒数(人)

児童・生徒数の推移

庄内地域児童・生徒数(人)

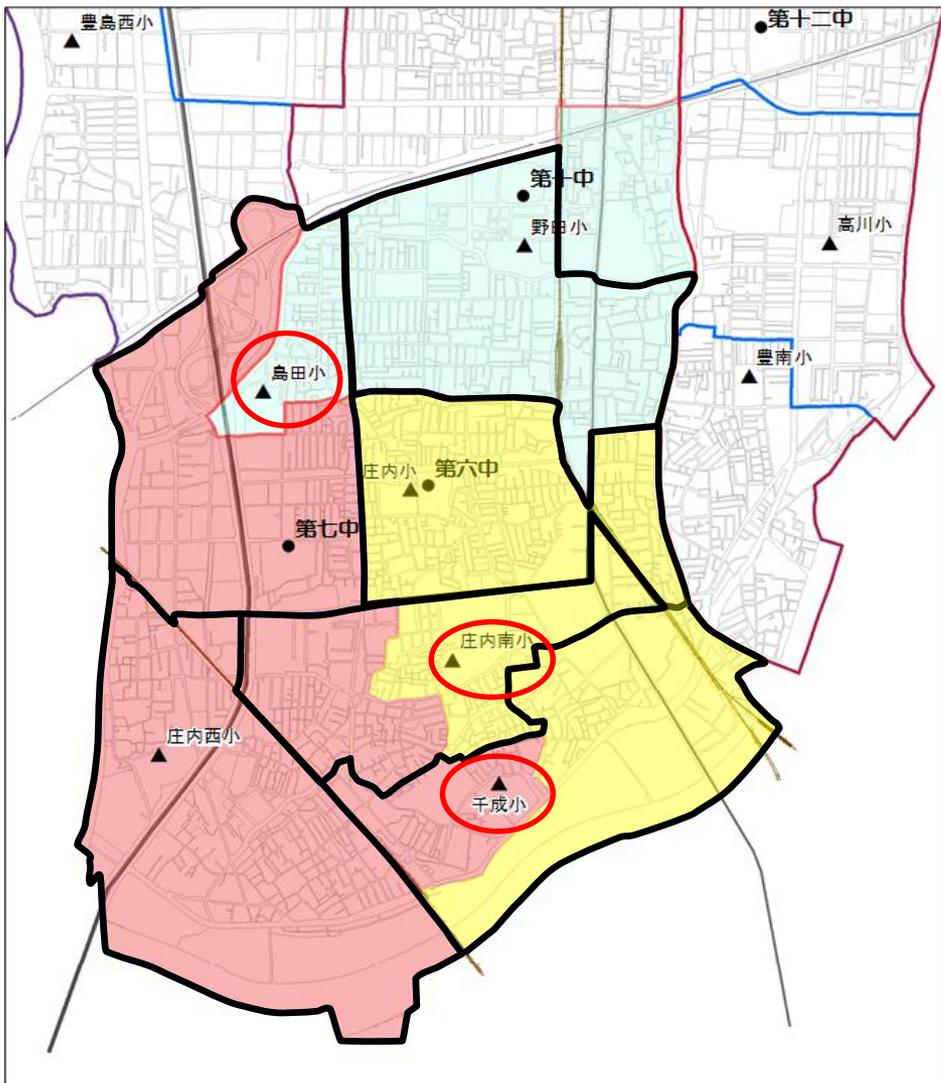


※平成27年度（2015年度）までは実数、平成28年度（2016年度）以降は推計値。



# 通学区域（分割校）に関する課題

庄内地域における小・中学校の位置及び通学区域



## ●分割校

一つの小学校から二つの中学校に分かれて進学する学校を「分割校」と定義している。庄内地域の小学校6校のうち、庄内南小学校、島田小学校、千成小学校の3校が分割校である。

分割校の進学先中学校への入学者数及び割合

分割校	進学先中学校	入学者数(人)	割合(%)	割合の幅(%) (H23～H27)
庄内南小学校	第六中学校	14	26.9	26.9～41.7
	第七中学校	38	73.1	58.3～73.1

分割校	進学先中学校	入学者数(人)	割合(%)	割合の幅(%) (H23～H27)
千成小学校	第六中学校	41	85.4	74.1～85.4
	第七中学校	7	14.6	14.6～25.9

分割校	進学先中学校	入学者数(人)	割合(%)	割合の幅(%) (H23～H27)
島田小学校	第七中学校	33	70.2	62.5～76.2
	第十中学校	14	29.8	23.8～37.5





## 庄内地域が抱える教育上の諸課題

小規模校化の課題	通学区域の課題 (分割校・調整区域)	生活・学習課題
<ul style="list-style-type: none"> <li>● クラス替えができず、人間関係が固定化されてしまい、トラブルが生じた場合になかなか解決できない</li> <li>● 児童・生徒が切磋琢磨する場が限られる</li> <li>● 指導者が少なく、部活動や委員会活動など、教育活動が縮小される</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 義務教育9年間の系統的・連続的な教育活動を推進する上で、分割校の存在が障壁となっている</li> <li>● 分割進学で、割合が少ない方の学校に進学した生徒たちへの精神的な負担が大きい</li> <li>● 調整区域では、子どもたち同士や地域とのつながりが希薄になる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 規則正しい生活習慣が整いにくく、学校にこれなくなる子どもが見られる</li> <li>● 進級、進学につれて学習内容が難しくなり、学習意欲が低下する子どもが見られる</li> </ul>



「魅力ある学校」づくりの検討に着手



# 「魅力ある学校」づくりワークショップ

平成26年（2014年）11月～平成27年（2015年）2月実施

庄内小学校 庄内コミュニティプラザ 【11/25(火),1/13(火),2/2(月)】	庄内南小学校 多目的ホール 【11/12(水),12/17(水),2/4(水)】	庄内西小学校 つどいの部屋 【11/19(水),1/14(水),2/9(月)】
野田小学校 多目的室 【12/8(月),1/21(水),2/23(月)】	島田小学校 コミュニティルーム 【12/1(月),1/19(月),2/18(水)】	千成小学校 多目的教室 【11/18(火),12/15(月),2/25(水)】

第1回「夢を語り合いましょう」

第2回「夢をかたちにしましょう」

第3回「わたしたちの提案」



# 1- (3) 「魅力ある学校」づくりワークショップ



## 【主な意見】

### ◆15歳の子どもの像



人の痛みがわかる  
子ども

夢に向かって  
頑張る子ども

思いやりがある  
子ども

社会で生き抜く力  
を身につけた子ども

コミュニケーション力  
のある子ども

考える力・探究心  
のある子ども

### ◆実現するための手段・方法

(今すぐに行えること)

- 授業の工夫（こども先生、外部講師）／放課後・土曜学習の場／図書館の充実
- きょうだい学級（異学年交流）／合同行事（清掃、体育祭等）／三世代交流
- ボランティア体験／相談できる場（子ども／保護者）／保護者のための教育講座

(将来できたらいいな)

- 学校との複合施設（児童館、保育所等、高齢者施設、図書館等）
- 小中一貫校／0歳児から中学卒業まで共に学べる施設
- 地域人材の発掘・育成／人材バンクへの登録⇒授業等での活用
- 自然の中での豊かな体験（農作業等）／地域のキッザニア（商店街、ものづくり）

# 「魅力ある学校」づくりシンポジウム

平成27年（2015年）3月22日  
庄内公民館にて実施



## 【内容】

- ワークショップ等の報告
- 学校関係者、地域団体代表者によるパネルディスカッション『庄内地域における魅力ある学校とは』



## 【パネルディスカッションでの主な意見】

- 自ら「学ぼうとする力」も大事。多くの人との関わり合いの中で蓄積される学力もある。質問する（聞く）力、表現する（伝える）力は大変重要であり、学校の授業の中でまず大事にしてほしい。
- 空間、時間、人間の「三間」が揃うことで子どもたちの「居場所」ができ、様々な出会いにつながる。
- 子どもたちは先輩の姿を見て憧れを感じ、成長する。小中連携は、お互いを理解し合わないといけない。加えて、社会資源等との「連携と協働」による取り組みが大切。
- 連携や複合施設において、地域住民やNPOなどコーディネート役が必要。



# 「魅力ある学校」案に係る情報・意見交換会

平成27年（2015年）  
7・8月実施

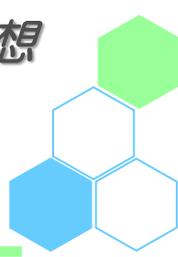
開催日	内 容
第1回 7月1日	魅力ある学校づくりの考え方について (事務局案)
第2回 7月22日	小中一貫教育ってなんだろう？ 庄内地域の小・中学校の合同研修の 取り組みについて
第3回 8月5日	意見交換



## 【主な意見】

- 子ども一人ひとりの良さを引き出すような「魅力ある学校」づくりが大事。
- 今の学校は児童・生徒が少なく、充実した教育環境であるとは言い難い。  
2、3校の小学校から1つの中学校に進学するのが人数的に適当ではないか。
- 今ある学校のどこを残すかではなく、すべての学校を閉校して新しい学校をつくる方がよいのではないか。
- 学校と福祉など、様々な分野の人たちと協働して、課題を抱える子どもを支援する必要がある。

## 2. 「魅力ある学校」づくり構想について



学校再編

小中一貫校  
の整備

(仮称)  
南部コラボ  
センターの  
建設

小中一貫教育の推進



「魅力ある学校」



生活・学習支援

地域資源の活用



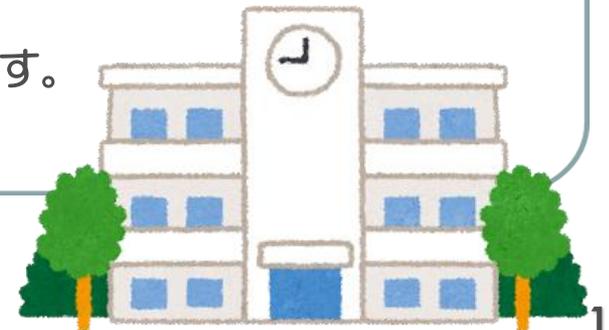


# (1) 学校再編による小中一貫教育の推進

既存の小学校区を基本単位として、  
小中一貫校を2校整備する。

北校	南校
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 庄内小学校</li><li>・ 野田小学校</li><li>・ 島田小学校</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 庄内南小学校</li><li>・ 庄内西小学校</li><li>・ 千成小学校</li></ul>

※ 施設形態（施設一体型/施設併用型）や  
整備場所（活用する学校敷地）は、案によって異なります。





小・中学校がめざす子ども像を共有し、9年間を通じた教育課程を編成し、系統的な教育をめざす教育

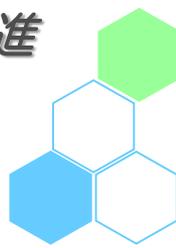
文部科学省：小中一貫教育等についての実態調査より



小学校と中学校が力を合わせ、義務教育9年間を見通して子どもの教育を発展的に、より充実したものへ高める

小学校						中学校			
1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	1年生	2年生	3年生	
前期（定着期）				中期（活用期）			後期（発展期）		
基礎・基本の習熟を図り、学校や家庭での学習習慣を定着させる時期				基礎・基本を活用し、自ら考え判断する力、表現する力をつける時期			基礎・基本を活かし、学んだ内容や学び方を活用し発展させる時期		
学級担任制						教科担任制			

※小・中学校の6・3制を変更せず、指導の重点を定めて、学年の区切りを柔軟に変更する。（例）4－3－2の指導区分、5－4の指導区分、4－5の指導区分



## 小中一貫教育で期待される効果

### ◆学習指導上の成果

- 学習意欲の向上、学習習慣の定着
- 授業の理解度の向上、学習に悩みを抱える児童生徒の減少

### ◆生活指導上の成果

- 「中1ギャップ」の緩和
- 学習規律・生活規律の定着、生活リズムの改善
- 自己肯定感の向上、思いやりや助け合いの気持ちの育成
- コミュニケーション能力の向上

### ◆その他

- 保護者との協働関係の強化
- 地域との協働関係の強化





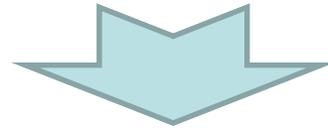
## (2) 生活・学習支援 ～機能の複合化等～

### 「児童館的機能」

放課後や休日に子どもたちが集まって、一緒に遊んだり、話したりできる“居場所”を学校敷地内に整備する。

### 「放課後学習機能」

放課後や休日に子どもたちが宿題をしたり、補習を受けたりできる“学習スペース”を学校敷地内に整備する。



「魅力ある学校」敷地内に子どもたちの集いの場を整備し、学生や事業者、NPO団体等と連携しながら運営する。





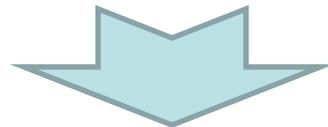
## (3) 地域資源の活用

「歴史資源」

「ものづくりのまち」

「商店街のにぎわい」

「音楽あふれるまちとよなか」



庄内地域に受け継がれている歴史・文化や、縁のある事業所や商店の方をゲストティーチャーとして招き、キャリア教育等の教育活動を実施する。

# 「魅力ある学校」づくり構想の具体案について

## 【構想案1】

施設一体型小中一貫校  
2校による  
リーディングスクール構想

北校

庄内小学校  
敷地

南校

千成小学校  
敷地

## 【構想案2】

新たな4-5の指導区分を  
重視した施設併用型  
小中一貫校2校による  
リーディングスクール構想

北校

小学1年生～  
4年生

庄内小学校  
敷地

南校

庄内南小学校  
敷地

小学5年生～  
中学3年生

第七中学校  
敷地

千成小学校  
敷地



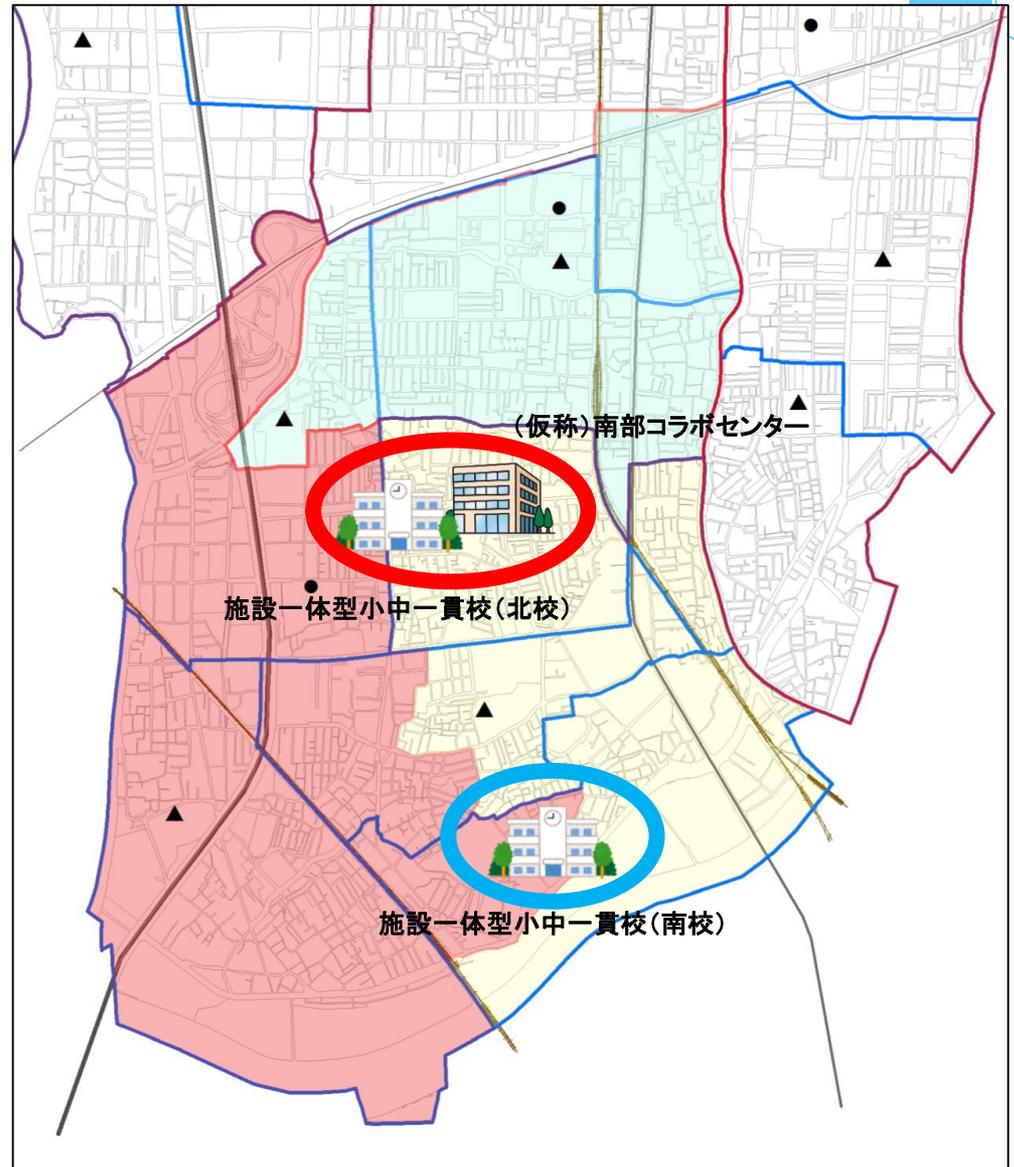
# 【構想案1】

## 施設一体型小中一貫校 2校による リーディングスクール構想

北校	南校
庄内小学校 敷地	千成小学校 敷地

※南校は、千成小学校に隣接するせんなりこども園の敷地を加えて整備することも検討しています。せんなりこども園も含め小学校就学前の教育・保育施設については将来予測される人口の減少に備え、中長期的な適正配置について検討を行っているところです。

※（仮称）南部コラボセンターは、第六中学校の敷地に整備することを検討しています。

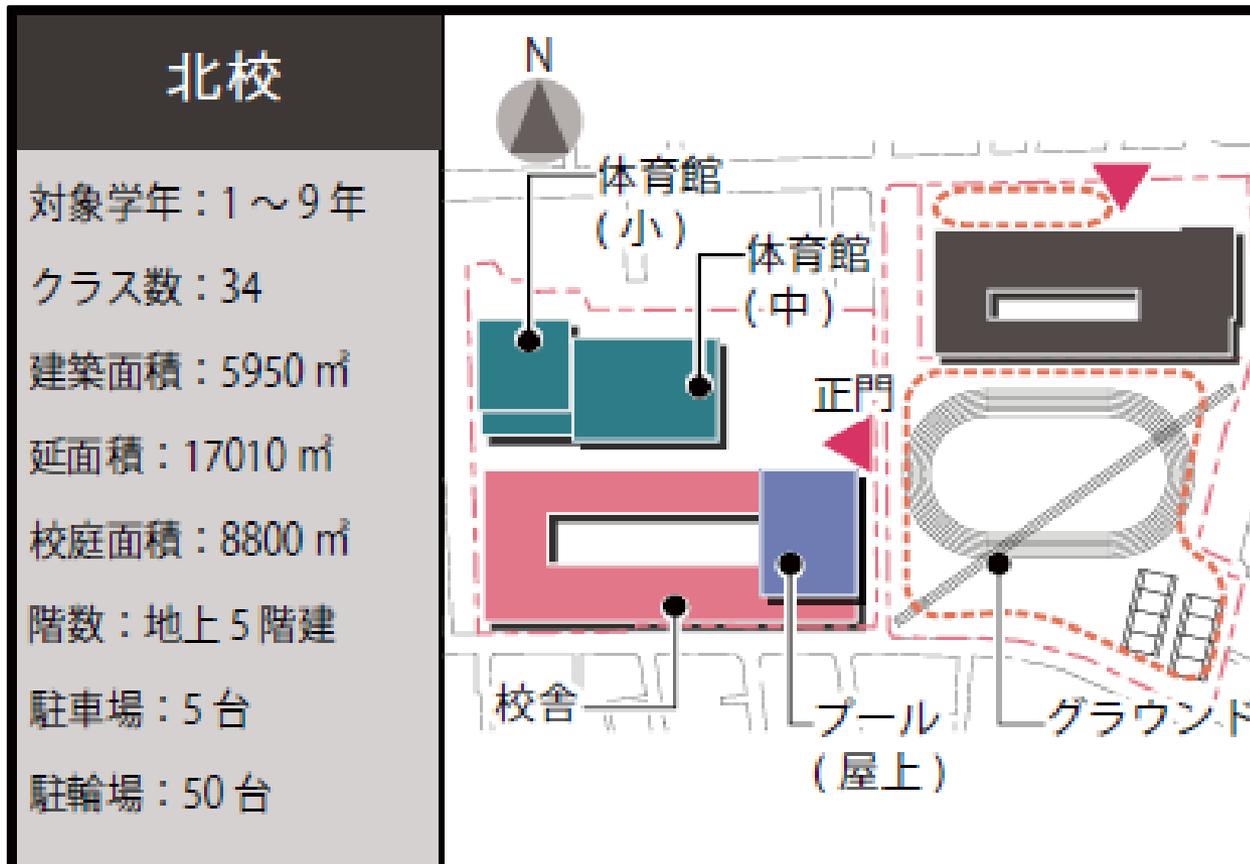


## 2. 【構想案1】施設一体型小中一貫校（北校）

### 【構想案1】

【将来推計に基づく平成33年度（2021年度）の児童生徒数、学級数】

		1年	2年	3年	4年	5年	6年	小学部合計	7年	8年	9年	中学部合計	北校合計
北校	児童・生徒数	116	118	124	130	135	108	731人	128	137	136	401人	1,132人
	学級数	4	4	4	4	4	3	23学級	4	4	4	12学級	35学級



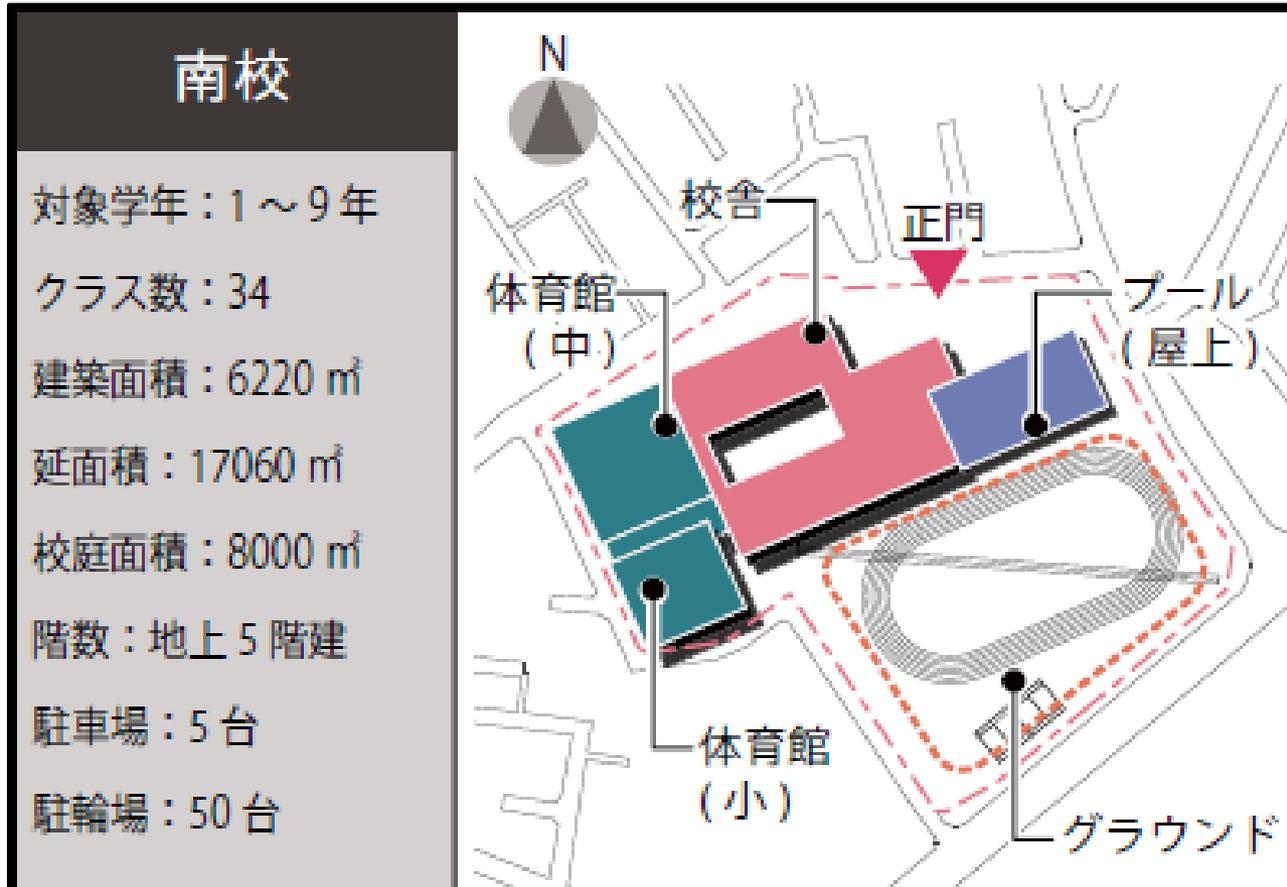
※校舎配置等はいくまで一例を示したものです。

## 2. 【構想案1】施設一体型小中一貫校（南校）

### 【構想案1】

【将来推計に基づく平成33年度（2021年度）の児童生徒数、学級数】

		1年	2年	3年	4年	5年	6年	小学部合計	7年	8年	9年	中学部合計	南校合計
南校	児童・生徒数	127	119	122	132	110	115	725人	124	116	121	361人	1,086人
	学級数	4	4	4	4	3	3	22学級	4	3	4	11学級	33学級



※校舎配置等はいくまで一例を示したものです。



# 【構想案1】

## 【再編スケジュール（例）】

※最速の場合を想定して作成した一例です。

	平成29年度 (2017年度)	平成30年度 (2018年度)	平成31年度 (2019年度)	平成32年度 (2020年度)	平成33年度 (2021年度)
北校	基本設計	実施設計	建設工事		新校舎(庄内小敷地)に移転
			野田小／十中敷地 (施設分離型小中一貫校として)		
南校	基本設計	実施設計	建設工事		新校舎(千成小敷地)に移転
			庄内南小／七中敷地 (施設分離型小中一貫校として)		

※北校は庄内小学校の敷地に整備するため、また（仮称）南部コラボセンターは第六中学校の敷地にするため、一旦、野田小学校、第十中学校の校舎等を活用して施設分離型小中一貫校を開校します。

※南校は千成小学校の敷地に整備するため、一旦、庄内南小学校、第七中学校の校舎等を活用して施設分離型小中一貫校を開校します。

# 【構想案2】

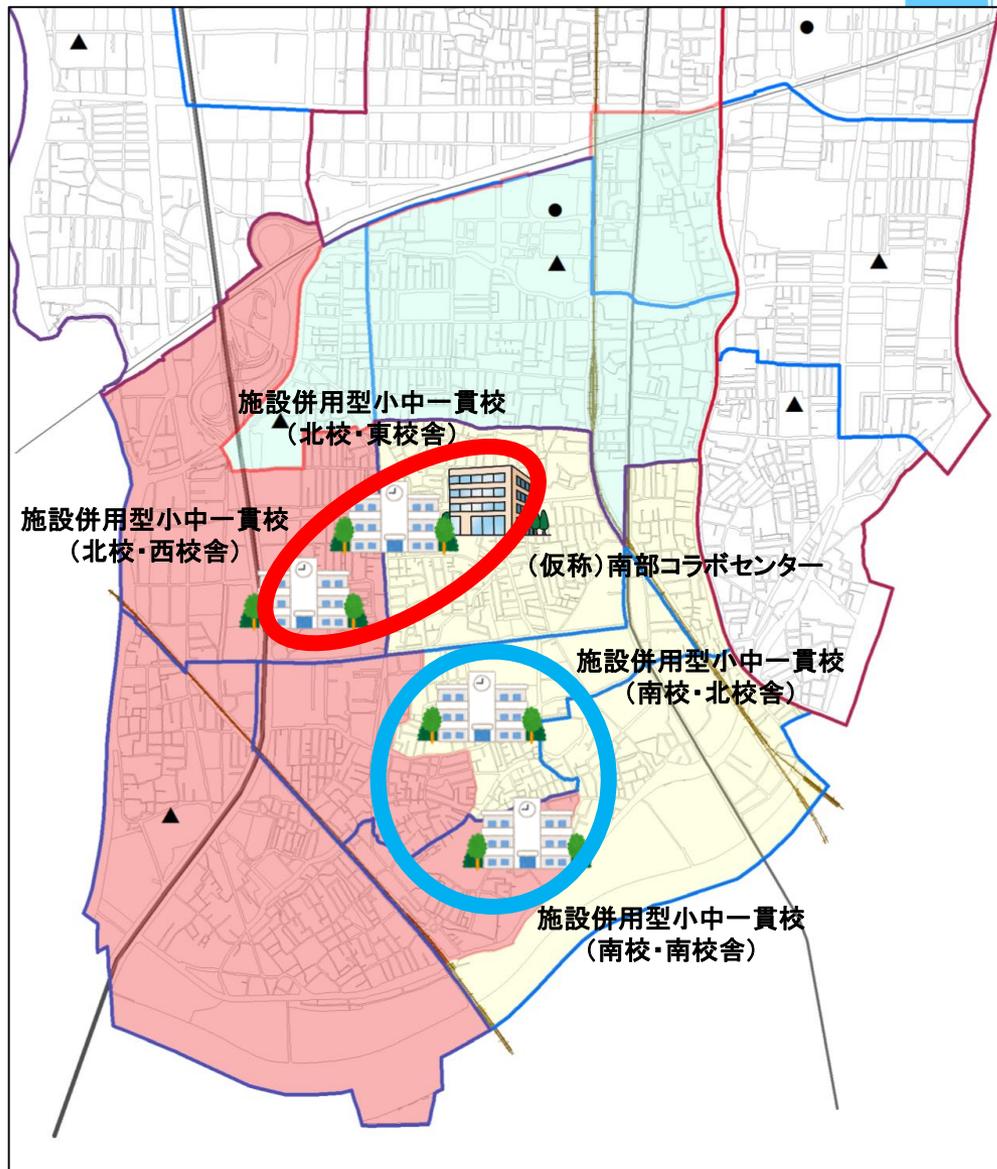
## 2. 【構想案2】施設併用型小中一貫校2校整備

新たな4-5の指導区分を重視した施設併用型小中一貫校2校によるリーディングスクール構想

	北校	南校
小学1年生～4年生	庄内小学校敷地	庄内南小学校敷地
小学5年生～中学3年生	第七中学校敷地	千成小学校敷地

※南校は、千成小学校に隣接するせんなりこども園の敷地を加えて整備することも検討しています。せんなりこども園も含め小学校就学前の教育・保育施設については将来予測される人口の減少に備え、中長期的な適正配置について検討を行っているところです。

※（仮称）南部コラボセンターは、第六中学校の敷地に整備することを検討しています。



## 2. 【構想案2】施設併用型小中一貫校（北校）

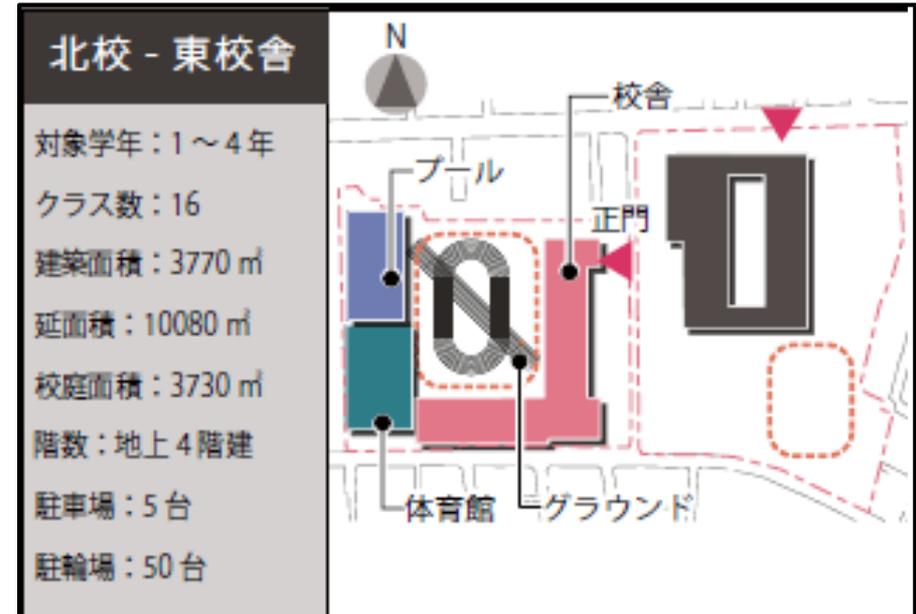
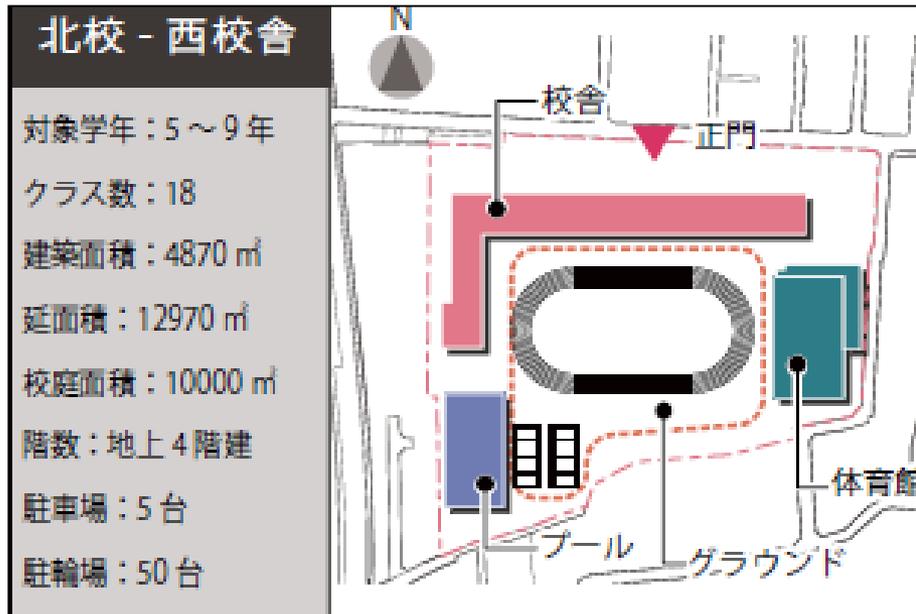
# 【構想案2】



【将来推計に基づく平成33年度（2021年度）の児童生徒数、学級数】

		5年	6年	5～6年計	7年	8年	9年	中学部合計	西校舎合計
北校	児童・生徒数	135	108	243人	128	137	136	401人	644人
	学級数	4	3	7学級	4	4	4	12学級	19学級

		1年	2年	3年	4年	東校舎合計
北校	児童数	116	118	124	130	488人
	学級数	4	4	4	4	16学級



※校舎配置等はいくまで一例を示したものです。

## 2. 【構想案2】施設併用型小中一貫校（南校）

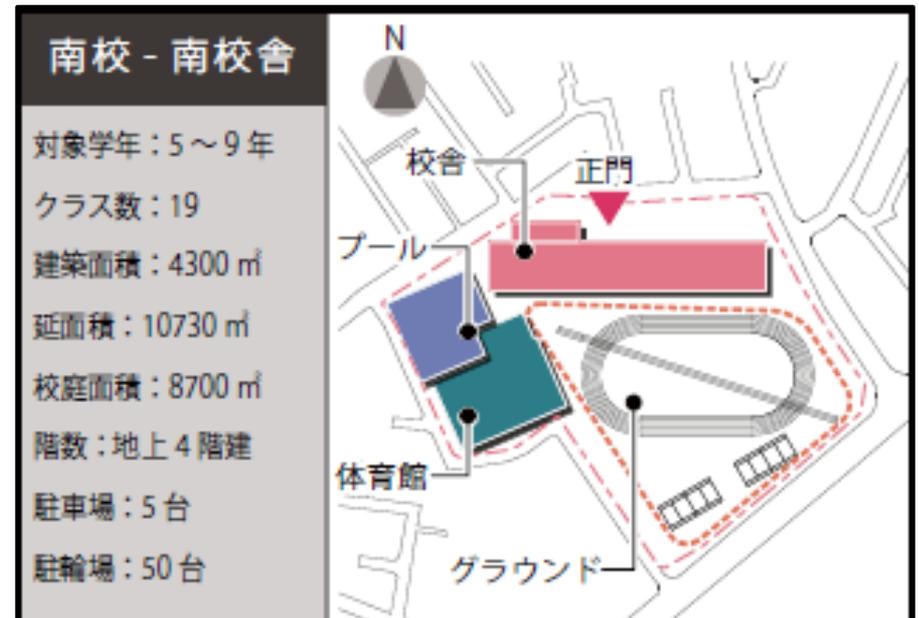
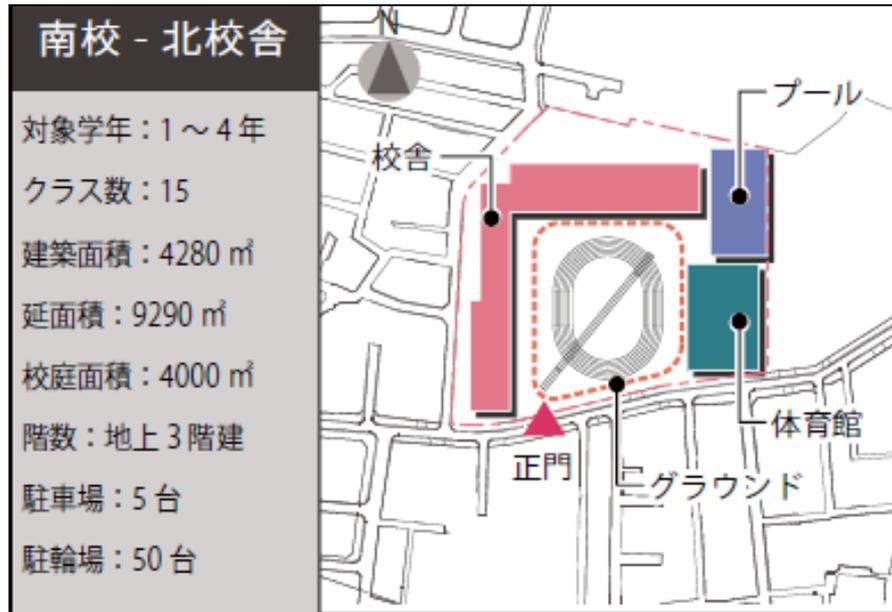
# 【構想案2】



【将来推計に基づく平成33年度（2021年度）の児童生徒数、学級数】

		1年	2年	3年	4年	北校舎合計
南校	児童数	127	119	122	132	500人
	学級数	4	4	4	4	16学級

		5年	6年	5～6年計	7年	8年	9年	中学部合計	南校舎合計
南校	児童・生徒数	110	115	225人	124	116	121	361人	586人
	学級数	3	3	6学級	4	3	4	11学級	17学級



※校舎配置等はいくまで一例を示したものです。

## 2. 【構想案2】施設併用型小中一貫校2校整備



# 【構想案2】

### 【再編スケジュール（例）】

※最速の場合を想定して作成した一例です。

	平成29年度 (2017年度)	平成30年度 (2018年度)	平成31年度 (2019年度)	平成32年度 (2020年度)	平成33年度 (2021年度)	平成34年度 (2022年度)	平成35年度 (2023年度)
北校 東校舎			基本設計	実施設計	建設工事		新校舎(庄内 小敷地)移転
北校 西校舎							
北校 仮校舎			野田小敷地(北校・小学部)		↑		
			十中敷地(北校・中学部)			↑	
南校 北校舎	基本設計	実施設計	建設工事		新校舎(庄内南小敷地)に移転		
南校 南校舎					新校舎(千成小)に移転		
南校 仮校舎			庄内西小敷地(南校・小学部) 七中敷地(南校・中学部)		↑		

※南校・中学部の仮校舎は、学校配置の都合上、第七中学校の校舎等を活用するため、北校・西校舎の整備が遅れることとなります。



# 「魅力ある学校」づくり構想2案の比較

## 案1：施設一体型小中一貫校2校によるリーディングスクール構想

○多様な異学年交流が行いやすく、合同授業、行事等を通じた「心の成長」が見込まれる。

○小・中学校の教職員間の意思疎通がとりやすく、9年間を通じた教育が実践しやすい。

●敷地面積がやや狭く、1,000人以上の子どもたちが安全に生活できるように工夫する必要がある。

### 【想定される対応案】

◆校舎配置等の工夫による空間確保

◆跡地活用（部活動等）

## 案2：施設併用型小中一貫校2校によるリーディングスクール構想

○いずれの校舎も児童・生徒数が500～600人規模となり、比較的ゆとりのある学校規模となる。

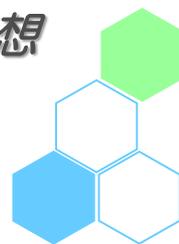
○1～4年生までと、5～9年生までの発達段階に応じた指導等が実践しやすい。

●物理的に離れるため、児童・生徒の交流や小・中学校の教職員の連携に課題がある。

### 【想定される対応案】

◆合同行事等による交流機会の設定

◆小中一貫教育担当者



## (仮称) 南部コラボセンターとの連携 (案)

(仮称) 南部コラボセンターに整備される 可能性のある機能・施設	予想される活用内容
歴史・文化を学ぶことのできる展示コーナー	社会科や総合的な学習の時間に活用
庄内のものづくり（製造業）を紹介する 展示コーナー	技術家庭科や総合的な学習の時間
多文化共生拠点施設	外国語・英語科や総合的な学習
図書館	様々な教育活動
学習室・遊戯室・スタジオ	放課後等の子どもたちの居場所
昔あそびのコーナー (将棋・囲碁・おはじき・かるた・百人一首・けん玉など)	子どもたち（主に低学年）と地域住民 の触れ合い
子育て支援、公民館、図書館、保健センターなど 設置される様々な施設	職業体験をはじめとするキャリア教育
会議室や集会室など	保護者（子育て等）の相談コーナー PTA行事等での利用
交流スペース（カフェなど）	保護者、地域の方の交流の場



### 3. 今後のスケジュール（想定）

年月日	予定等
平成28年（2016年） 2月20日・21日	南部地域活性化に向けた検討案の説明会
3月～8月	（仮称）「魅力ある学校」づくり構想案の意見交換・検討
9月	（仮称）「魅力ある学校」づくり計画素案の作成・提示
10月～11月	地域説明会／意見公募手続の実施
12月	（仮称）「魅力ある学校」づくり計画の策定
平成29年（2017年） 1月以降	（仮称）「魅力ある学校」づくり計画に基づく 新設校の整備方針等の検討 〔学校のコンセプト、施設・設備の整備方針 校舎等の配置、整備スケジュール等〕

※あくまで現時点の想定スケジュールであり、決まったものではありません。

庄内地域における「魅力ある学校」  
づくり構想に関する意見等や、  
意見交換会開催の要望等があれば、  
下記までご連絡ください。

【連絡先】

豊中市教育委員会事務局 学校教育課 計画係

TEL: 06-6858-2705 / FAX: 06-6846-9649

E-Mail: [kyokeikaku@city.toyonaka.osaka.jp](mailto:kyokeikaku@city.toyonaka.osaka.jp)